

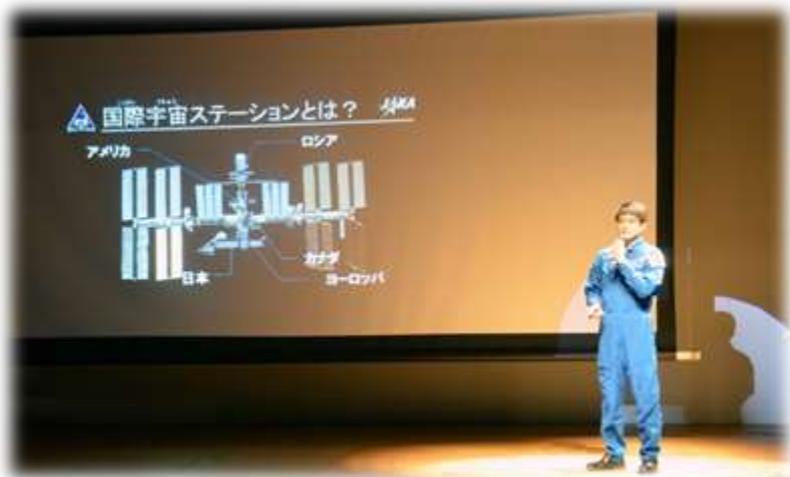


大西卓哉 宇宙飛行士が 浅口にやってきた！（前編）

昨年（2016年）の七夕の日に宇宙へ向かい、国際宇宙ステーション（ISS）で色々なミッションを行ってきた、大西卓哉^{おおにし たくや}宇宙飛行士のミッション報告会が、4月15日、浅口市の中央公民館で開かれました。



ミッション報告会（第1部）では、ソユーズ宇宙船の打ち上げや宇宙での実験、ISSの中での生活の様子、そして地球へ戻ってからのリハビリまでを、大西さんが写真や映像を使ってわかりやすく説明しました。



ミッションの一つ、日本人として初めてアメリカのシグナス補給船をキャプチャする作業では、とても難しい作業で失敗したら地上からの大切な贈り物（物資）を受け取れなくなってしまうというプレッシャーの中、元パイロットの経験を生かして見事に成功させたよ！

大西宇宙飛行士は、こんな人！

- ★ 小学校3～5年まで岡山^{おかやま}で生活していた
- ★ 映画「アポロ13」がきっかけで宇宙を目指しはじめた
- ★ 2009年、JAXA（宇宙航空研究開発機構）の宇宙飛行士候補者に選ばれた
- ★ 宇宙飛行士になる前は、旅客機のパイロットをしていた
- ★ 2016年7月7日から10月30日までの115日間、ISS第48次／第49次長期滞在クルー^{たいざい}として宇宙に滞在
- ★ 好きな食べ物は、ラーメン^{たいざい}

補給船をキャプチャするロボットアームの操作は、飛行機の操縦と似ていて、自分のテクニックを見せることができる場面だったと話していたよ。



宇宙で、ロシアの宇宙飛行士に髪の毛を切ってもらったこと、体を安定させるのが難しく慣れるまでトイレに行くのがとても大変だったこと、宇宙食の中でも宇宙日本食を食べることが楽しみで、作業をがんばったときに自分へのごほうびにしていたことなど、宇宙での生活についても話していたよ！



宇宙で髪の毛を切るときは、髪の毛が散らばらないように掃除機で吸い取りながら切っていくんだって。

ロシアのイヴァニシン宇宙飛行士に切ってもらったら、短くなり過ぎたと会場の笑いをさそっていたよ！



第1部の後半は、会場からの質問コーナー。

大西さんに直接質問できるチャンスとあって、会場から元気よく手が挙がっていました。

一部を紹介します。

(質問) 宇宙にデザートはありますか？

(大西さん) デザートもあります。でも、クッキーやチョコレートなど保存のきくものしかなく、ケーキなどの賞味期限の短いものはありません。果物は、地上の人たちが補給船に積んでくれているので、届くと新鮮な果物の香りがして、とてもうれしかったです。

(質問) 一番大変だった訓練はなんですか？

(大西さん) 基本的に、訓練はどれも大変でした。その中で一番大変だったのは、ソユーズ宇宙船の訓練です。ロシアの宇宙船なので、訓練はロシアで行い、宇宙船の難しい機械についての説明はもちろんロシア語。毎晩夜中の1時2時まで勉強して、また次の日の朝から訓練が始まるという生活をしていたので、個人的には一番大変でした。



(質問) 宇宙はどんな臭いですか？

(大西さん) 先輩の宇宙飛行士から、宇宙船の中は体育会系の部活のロッカーの臭いと聞かされていたけど、実際に国際宇宙ステーション (ISS) に行ってみると、病院の中のような臭いがしました。宇宙飛行士が丁寧に掃除や消毒をしているからだと思います。それから、補給船をキャプチャして、初めてISSと補給船をつなぐドアを開けると、ちょっと焦げ臭いような独特の臭いがします。宇宙空間を旅してきた補給船からのこの臭いを、宇宙飛行士の間では宇宙の臭いと呼んでいます。

